

事前評価書

年度	4
整理番号	
事業主体	大分県

事業名・路線名等		(単)道路改良事業 一般県道津久見野津線 乙見2工区	
所在地		臼杵市大字乙見	
事業概要	事業の目的	・幅員狭小、線形不良で車両の離合も困難なため、走行性・安全性の向上を図る。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=320m、W=5.5(7.0)m ※幅広路肩適用区間:L=160m、W=5.5(7.25)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】 954台/日(R22) 【現況幅員】 W=3.5~5.4m 【交通量】 自動車 1,068台/日(H27センサス)	
	事業費	C= 200 百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和9年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 地形測量、路線測量、道路詳細設計 2年目 地質調査、構造物設計、用地測量 3年目 用地補償 4年目 改良工事 5年目 改良工事、舗装工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	・当箇所はバス路線であるが、幅員狭小・線形不良のため離合が困難な状況で早期の改良が望まれている。	
	整備効果	・道路改良を行うことで道路利用者の走行性、安全性が向上。	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.3)	
	工法の妥当性	・道路構造については、道路構造令を満足するものとなっている。 ・現道を有効活用し、経済性に優れた計画を採用。	
	コスト縮減	・アスファルト・砕石は再生材を使用。	
	環境等への配慮	・現道を活用し、土地の改変を最小限に抑制。	
事業実施環境	事業の実効性	・臼杵市、地元自治会より改良の要望あり。	
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき、道路管理者として、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とするべく事業を実施。 ・「安心・活力・発展プラン2015~2020改訂版~」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」「おおいたの道構想2015~改訂~」において、地域ネットワークの整備として推進が位置づけられている。	
	事業の特殊性	・土地の改変の少ない現道拡幅で、特殊な工法は採用しておらず、また施工条件等に特殊な制約もない。	
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。	

